中学校歴史 単元別学習 90 問

第 6 単元 室町幕府と民衆の成長

範囲：南北朝と室町幕府／東アジアとの交流／民衆の成長／戦国大名と室町文化
用語を確かめ、出来事の順序や、暮らし・政治・文化のつながりを説明しよう。

STEP 1 一問一答 50 問

南北朝の動乱と室町幕府

問 1　鎌倉幕府の滅亡後、後醍醐天皇が始めた天皇中心の政治を何というか。

問 2　建武の新政を行い、のちに吉野へ移って南朝を開いた天皇は誰か。

問 3　1338 年に征夷大将軍となり、京都に幕府を開いた人物は誰か。

問 4　京都と吉野に二つの朝廷が並び立って争った時代を何というか。

問 5　足利氏を将軍とし、京都を中心に政治を行った武家政権を何というか。

問 6　室町幕府で将軍を補佐し、政治をまとめた役職は何か。

問 7　南北朝の動乱などを通じ、任国で強い支配力を持つようになった守護は何か。

問 8　南北朝の合一を実現し、金閣を建てた第 3 代将軍は誰か。

問 9　14 世紀に元に代わって成立し、室町幕府が貿易を行った中国の王朝は何か。

問 10　正式な貿易船であることを示すため、日明貿易で用いた証明書は何か。

東アジアの交流と商業

問 11　室町幕府が明と行い、勘合を用いた貿易を何というか。

問 12　中世に朝鮮や中国の沿岸などで活動し、略奪なども行った海上勢力は何か。

問 13　1392 年に李成桂が高麗に代わって建てた国は何か。

問 14　朝鮮で世宗の時代に作られ、公布された独自の文字を何というか。

STEP 1 一問一答 50 問 続き

問 15　尚巴志が三山を統一し、首里を中心に発展させた王国は何か。

問 16　各地の商品を運び、別の地域へ売ることで利益を得る貿易を何というか。

問 17　北海道などで独自の文化を育み、和人とも交易した先住民族は何か。

問 18　寺社などの保護を受け、同業者が結んだ営業上の特権を持つ団体は何か。

問 19　質物をとって金を貸し、室町幕府の課税対象にもなった金融業者は何か。

村と都市の自治と一揆

問 20　酒の製造・販売を行い、金融業も営んだ商人を何というか。

問 21　農民たちが村の自治や共同作業のために形成した、自治的な村の組織は何か。

問 22　惣の人々が、村の決まりや共同作業などを話し合った集まりは何か。

問 23　借金の帳消しなどを求め、農民や運送業者らが団結して起こした一揆は何か。

問 24　1428 年に近畿地方へ広がり、徳政を求めた大規模な土一揆は何か。

問 25　1485 年に南山城の国人や農民らが軍勢を退かせ、自治を行った一揆は何か。

問 26　浄土真宗の信者らが結束して起こした一揆を何というか。

問 27　室町時代に、一向宗とも呼ばれた仏教の宗派は何か。

問 28　商人などの住民が、町の政治や運営を自分たちで行った都市を何というか。

問 29　会合衆という有力商人たちが自治を行い、貿易でも栄えた大阪府の都市は何か。

応仁の乱と戦国大名

問 30　応仁の乱のころの第 8 代将軍で、東山に山荘や銀閣を造った人物は誰か。

問 31　1467 年に始まり、京都を中心に約 11 年間続いた戦乱は何か。

問 32　家臣が主君を倒すなど、下の立場の者が上の者を実力でしのぐことは何か。

問 33　戦国時代に、実力で領国を支配し、独自の政治を行った大名を何というか。

問 34　戦国大名が領国内を支配するために定めた独自の法を何というか。

問 35　大名の城を中心に、家臣や商工業者などが集まってできた町は何か。

問 36　伊豆を攻め取り、小田原の後北条氏の基礎を築いた人物は誰か。

問 37　1573 年に足利義昭を京都から追放した戦国大名は誰か。

北山文化と東山文化

問 38　足利義満が北山の山荘に建てた、金箔の装飾で知られる舎利殿は何か。

問 39　金閣に代表され、足利義満のころに栄えた文化を何というか。

問 40　足利義政が東山の山荘に造らせた、観音殿とも呼ばれる建物は何か。

問 41　銀閣に代表され、足利義政のころに栄えた文化を何というか。

問 42　床の間・襖・畳などを備え、現代の和室にもつながる建築様式は何か。

問 43　水を使わず、石や砂などで山や水の景色を表す庭園の様式は何か。

問 44　明で学び、日本の水墨画を大成した画僧は誰か。

室町時代の芸術と芸能

問 45　墨の濃淡などを用い、山水や人物などを描く絵画を何というか。

問 46　能の大成に関わった父子のうち、世阿弥の父にあたる人物は誰か。

問 47　観阿弥の子で、足利義満の保護を受け、能を大成した人物は誰か。

問 48　観阿弥・世阿弥らが大成した、謡や舞を中心とする舞台芸能は何か。

問 49　人々の日常生活などを題材に、会話やしぐさで笑いを表す舞台芸能は何か。

問 50　五・七・五の句と七・七の句を、複数の人が交互につなぐ文芸は何か。

STEP 2 歴史の並び替え 20 問

次のア〜エを、古い順に並べなさい。

問 1　新政から室町幕府へ

ア 京都と吉野に朝廷が分かれる　　イ 後醍醐天皇が新政を始める
ウ 中国で明が成立する　　エ 足利尊氏が征夷大将軍となる

問 2　幕府と義満の政治

ア 義満が北山殿の造営を始める　　イ 足利尊氏が征夷大将軍となる
ウ 南北朝が合一する　　エ 義満が室町殿を造営する

問 3　東アジアの国々と貿易

ア 尚巴志が琉球の三山を統一する　　イ 勘合を使った日明貿易が始まる
ウ 中国で明が成立する　　エ 李成桂が朝鮮を建国する

問 4　室町幕府の基礎を固める

ア 義満が室町殿を造営する　　イ 南北朝が合一する
ウ 足利尊氏が征夷大将軍となる　　エ 勘合を使った日明貿易が始まる

問 5　義満の時代から民衆の動きへ

ア 義満が北山殿の造営を始める　　イ 正長の土一揆が起こる
ウ 応仁の乱が始まる　　エ 勘合を使った日明貿易が始まる

問 6　民衆の成長と一揆

ア 応仁の乱が始まる　　イ 山城の国一揆が起こる
ウ 加賀の一向一揆で守護が倒される　　エ 正長の土一揆が起こる

問 7　南北朝の合一から応仁の乱へ

ア 応仁の乱が始まる　　イ 南北朝が合一する
ウ 正長の土一揆が起こる　　エ 応仁の乱が終わる

STEP 2 歴史の並び替え 20 問 続き

次のア〜エを、古い順に並べなさい。

問 8　応仁の乱の後に続く動き

ア 応仁の乱が終わる　　イ 応仁の乱が始まる
ウ 山城の国一揆が起こる　　エ 加賀の一向一揆で守護が倒される

問 9　朝鮮・琉球・北の地域

ア 李成桂が朝鮮を建国する　　イ コシャマインの戦いが起こる
ウ 朝鮮でハングルが公布される　　エ 尚巴志が琉球の三山を統一する

問 10　東アジアの変化と文化

ア 中国で明が成立する　　イ 義満が北山殿の造営を始める
ウ 勘合を使った日明貿易が始まる　　エ 朝鮮でハングルが公布される

問 11　北山から東山へ文化をたどる

ア 銀閣の上棟が行われる　　イ 義満が北山殿の造営を始める
ウ 応仁の乱が始まる　　エ 義政が東山山荘の造営を始める

問 12　義満と義政の時代

ア 銀閣の上棟が行われる　　イ 義満が北山殿の造営を始める
ウ 南北朝が合一する　　エ 義政が東山山荘の造営を始める

問 13　東山山荘が造られるまでとその後

ア 義政の東求堂ができる　　イ 銀閣の上棟が行われる
ウ 応仁の乱が終わる　　エ 義政が東山山荘の造営を始める

問 14　一揆と東山文化

ア 山城の国一揆が起こる　　イ 銀閣の上棟が行われる
ウ 正長の土一揆が起こる　　エ 加賀の一向一揆で守護が倒される

STEP 2 歴史の並び替え 20 問 続き

次のア〜エを、古い順に並べなさい。

問 15　室町後期から戦国の変化へ

ア 応仁の乱が始まる　　イ 織田信長が桶狭間の戦いに勝つ
ウ 加賀の一向一揆で守護が倒される　　エ 信長が足利義昭を京都から追う

問 16　地域の勢力と信長の台頭

ア 織田信長が桶狭間の戦いに勝つ　　イ 信長が足利義昭を奉じて上洛する
ウ 加賀の一向一揆で守護が倒される　　エ 山城の国一揆が起こる

問 17　室町幕府の始まりと終わり

ア 応仁の乱が始まる　　イ 南北朝が合一する
ウ 信長が足利義昭を京都から追う　　エ 足利尊氏が征夷大将軍となる

問 18　南北朝から戦国末期へ

ア 応仁の乱が始まる　　イ 勘合を使った日明貿易が始まる
ウ 京都と吉野に朝廷が分かれる　　エ 信長が足利義昭を京都から追う

問 19　各地の動きと戦国の戦い

ア 尚巴志が琉球の三山を統一する　　イ 織田信長が桶狭間の戦いに勝つ
ウ コシャマインの戦いが起こる　　エ 加賀の一向一揆で守護が倒される

問 20　政治と貿易と民衆の流れ

ア 信長が足利義昭を京都から追う　　イ 勘合を使った日明貿易が始まる
ウ 山城の国一揆が起こる　　エ 足利尊氏が征夷大将軍となる

STEP 3 記述問題 20 問

理由やつながりが伝わるように説明しなさい。資料がある問題は、資料も使って考えよう。

問 1　建武の新政に対して、幕府を倒す戦いに加わった武士の一部が不満を強めたのはなぜか。土地や恩賞の扱いと結び付けて説明しなさい。

問 2　京都と吉野に二つの朝廷ができたのはなぜか。「足利尊氏」「後醍醐天皇」の語を使って説明しなさい。

問 3　南北朝の動乱などを通じて、守護の力はどのように変化したか。鎌倉時代の主な役割と比べて説明しなさい。

問 4　室町幕府が、商業や貿易から収入を得た方法を二つ挙げて説明しなさい。

問 5　日明貿易で勘合を使ったのはなぜか。「倭寇」「正式な貿易船」の語を使って説明しなさい。

STEP 3 記述問題 20 問 続き

理由やつながりが伝わるように説明しなさい。資料がある問題は、資料も使って考えよう。

問 6　資料を見て、銅と銅銭がどちら向きに運ばれたかを説明し、輸入された銅銭が日本の商業に果たした役割も述べなさい。
資料　日本から明へ：刀剣・銅・硫黄など／明から日本へ：銅銭・生糸・絹織物など

問 7　琉球王国はどのような中継貿易を行って栄えたか。交流した地域を二つ以上挙げて説明しなさい。

問 8　資料から、アイヌの人々と和人の交易にはどのような意味があったか。また、両者の関係には対立もあったことを、出来事を挙げて説明しなさい。
資料　アイヌの人々は海産物や毛皮などを出し、和人などとの交易で鉄器や漆器などを得た。

問 9　惣では、人々はなぜ協力し、寄合を開いたのか。農業や村の運営の具体例を挙げて説明しなさい。

問 10　正長の土一揆などで、農民らが土倉や酒屋を襲い、徳政を求めたのはなぜか。「借金」の語を使って説明しなさい。

STEP 3 記述問題 20 問 続き

理由やつながりが伝わるように説明しなさい。資料がある問題は、資料も使って考えよう。

問 11　正長の土一揆と山城の国一揆は、主な要求やその後の行動がどう違うか。両方を比べて説明しなさい。

問 12　堺では、どのような人々が、何を背景に町の自治を担ったか。「会合衆」「貿易」の語を使って説明しなさい。

問 13　応仁の乱が起こった背景を、将軍家や守護大名家の跡継ぎ争いと、有力な守護大名どうしの対立から説明しなさい。

問 14　戦国大名は領国をどのように治めようとしたか。「分国法」「城下町」の語を使って説明しなさい。

問 15　金閣と銀閣について、関わった将軍と、代表する文化の名前・特徴が分かるように比べて説明しなさい。

STEP 3 記述問題 20 問 続き

理由やつながりが伝わるように説明しなさい。資料がある問題は、資料も使って考えよう。

問 16　室町時代に発達し、現代にも受け継がれている住まいや芸能の例を二つ挙げ、それぞれの特徴を説明しなさい。

問 17　発展　「1467 年に応仁の乱が始まると、全国で一斉に幕府の支配がなくなった」といえるか。資料の年代も使って説明しなさい。

資料　応仁の乱の開始：1467 年／山城の国一揆：1485 年／加賀の一向一揆：1488 年／義昭の京都追放：1573 年

問 18　発展　「一揆は、農民だけが、いつも同じ目的で起こした」という説明は適切か。資料を使って説明しなさい。

資料　山城の国一揆：国人と農民らが軍勢を退去させ自治を行う／加賀の一向一揆：一向宗の門徒らが守護を倒す

問 19　発展　「室町時代の文化は日本で発展したので、外国文化の影響はない」といえるか。資料を使って説明しなさい。

資料　雪舟は明で水墨画を学んだ。茶会では、中国からもたらされた品物も用いられた。

問 20　発展　下剋上とは何か。また、戦国大名がみな同じ出身だったといえない理由を、資料も使って説明しなさい。

資料　戦国大名には、守護の家から成長した者も、守護代や国人から台頭した者もいた。

解答 STEP 1 一問一答

表記が異なっていても、同じ内容を正しく示していれば正解とします。

番号	解答	番号	解答
1	建武の新政	26	一向一揆
2	後醍醐天皇	27	浄土真宗
3	足利尊氏	28	自治都市
4	南北朝時代	29	堺
5	室町幕府	30	足利義政
6	管領	31	応仁の乱
7	守護大名	32	下剋上
8	足利義満	33	戦国大名
9	明	34	分国法
10	勘合	35	城下町
11	日明貿易	36	北条早雲
12	倭寇	37	織田信長
13	朝鮮	38	金閣
14	ハングル	39	北山文化
15	琉球王国	40	銀閣
16	中継貿易	41	東山文化
17	アイヌ民族	42	書院造
18	座	43	枯山水
19	土倉	44	雪舟
20	酒屋	45	水墨画
21	惣	46	観阿弥
22	寄合	47	世阿弥
23	土一揆	48	能
24	正長の土一揆	49	狂言
25	山城の国一揆	50	連歌

認められる表記の例

問 1：建武新政も可。問 11：勘合貿易も可。問 14：訓民正音も可。
問 21：惣村も可。問 25：山城国一揆も可。問 32：下克上も可。問 36：伊勢宗瑞も可。
問 38：鹿苑寺金閣も可。問 40：慈照寺銀閣も可。問 42：書院造りも可。

解答 STEP 2 並び替え

出来事の年代と、その前後のつながりも確認しましょう。

番号	答え	解説
1	イ→ア→エ→ウ	建武の新政の始まり（1333 年。建武への改元は 1334 年） → 南北朝の分裂（1336 年） → 足利尊氏の将軍任命（1338 年） → 明の成立（1368 年）
2	イ→エ→ウ→ア	足利尊氏の将軍任命（1338 年） → 室町殿の造営（1378 年） → 南北朝の合一（1392 年） → 北山殿の造営開始（1397 年）
3	ウ→エ→イ→ア	明の成立（1368 年） → 朝鮮の建国（1392 年） → 勘合を用いる日明貿易の開始（1404 年） → 尚巴志の三山統一（1429 年）
4	ウ→ア→イ→エ	足利尊氏の将軍任命（1338 年） → 室町殿の造営（1378 年） → 南北朝の合一（1392 年） → 勘合を用いる日明貿易の開始（1404 年）
5	ア→エ→イ→ウ	北山殿の造営開始（1397 年） → 勘合を用いる日明貿易の開始（1404 年） → 正長の土一揆（1428 年） → 応仁の乱の始まり（1467 年）
6	エ→ア→イ→ウ	正長の土一揆（1428 年） → 応仁の乱の始まり（1467 年） → 山城の国一揆（1485 年） → 加賀の一向一揆（1488 年）
7	イ→ウ→ア→エ	南北朝の合一（1392 年） → 正長の土一揆（1428 年） → 応仁の乱の始まり（1467 年） → 応仁の乱の終わり（1477 年）
8	イ→ア→ウ→エ	応仁の乱の始まり（1467 年） → 応仁の乱の終わり（1477 年） → 山城の国一揆（1485 年） → 加賀の一向一揆（1488 年）
9	ア→エ→ウ→イ	朝鮮の建国（1392 年） → 尚巴志の三山統一（1429 年） → ハングルの公布（1446 年。創製は 1443 年） → コシャマインの戦い（1457 年）
10	ア→イ→ウ→エ	明の成立（1368 年） → 北山殿の造営開始（1397 年） → 勘合を用いる日明貿易の開始（1404 年） → ハングルの公布（1446 年。創製は 1443 年）

解答 STEP 2 並び替え 続き

番号	答え	解説
11	イ→ウ→エ→ア	北山殿の造営開始（1397 年） → 応仁の乱の始まり（1467 年） → 東山山荘の造営開始（1482 年） → 銀閣の上棟（1489 年）
12	ウ→イ→エ→ア	南北朝の合一（1392 年） → 北山殿の造営開始（1397 年） → 東山山荘の造営開始（1482 年） → 銀閣の上棟（1489 年）
13	ウ→エ→ア→イ	応仁の乱の終わり（1477 年） → 東山山荘の造営開始（1482 年） → 東求堂の建立（1486 年） → 銀閣の上棟（1489 年）
14	ウ→ア→エ→イ	正長の土一揆（1428 年） → 山城の国一揆（1485 年） → 加賀の一向一揆（1488 年） → 銀閣の上棟（1489 年）
15	ア→ウ→イ→エ	応仁の乱の始まり（1467 年） → 加賀の一向一揆（1488 年） → 桶狭間の戦い（1560 年） → 足利義昭の追放（1573 年。室町幕府の終わりとされる）
16	エ→ウ→ア→イ	山城の国一揆（1485 年） → 加賀の一向一揆（1488 年） → 桶狭間の戦い（1560 年） → 信長の上洛（1568 年）
17	エ→イ→ア→ウ	足利尊氏の将軍任命（1338 年） → 南北朝の合一（1392 年） → 応仁の乱の始まり（1467 年） → 足利義昭の追放（1573 年。室町幕府の終わりとされる）
18	ウ→イ→ア→エ	南北朝の分裂（1336 年） → 勘合を用いる日明貿易の開始（1404 年） → 応仁の乱の始まり（1467 年） → 足利義昭の追放（1573 年。室町幕府の終わりとされる）
19	ア→ウ→エ→イ	尚巴志の三山統一（1429 年） → コシャマインの戦い（1457 年） → 加賀の一向一揆（1488 年） → 桶狭間の戦い（1560 年）
20	エ→イ→ウ→ア	足利尊氏の将軍任命（1338 年） → 勘合を用いる日明貿易の開始（1404 年） → 山城の国一揆（1485 年） → 足利義昭の追放（1573 年。室町幕府の終わりとされる）

解答 STEP 3 記述問題

模範解答は一例です。同じ意味を正しく説明できていれば正解とします。
「採点のポイント」を満たすか確認し、足りない言葉を自分の解答に加えよう。

問題	模範解答	採点のポイント
問 1 建武の新政への不満	武士は土地の保障や働きに応じた恩賞を期待したが、その決定や土地の権利の確認に混乱や不満が生じ、要求が十分満たされなかったため。	武士の土地・恩賞への期待と、新政での扱いへの不満を結び付ける。
問 2 南北朝が分かれた理由	足利尊氏が京都に別の天皇を立てたのに対し、後醍醐天皇が吉野へ移って自らの正当性を主張し、朝廷が二つに分かれたため。	尊氏が京都に立てた天皇と、吉野へ移った後醍醐天皇という二つの朝廷を示す。
問 3 守護の力の変化	鎌倉時代は軍事・警察が主な役割だったが、戦乱を通じて土地や税の支配にも関わり、国人らを従えて任国に強い支配力を持つ守護大名へ成長した。	軍事・警察から、土地・徴税や在地の武士への支配へと力が広がったことを示す。
問 4 室町幕府の財源	土倉や酒屋などの商業・金融業者に税をかけて収入を得た。また、日明貿易を進め、貿易の利益も財源とした。	商業・金融業者への課税と、日明貿易の利益の二つを示す。
問 5 勘合を使う理由	倭寇などと区別して正式な貿易船であることを証明するため、明の側で勘合を台帳と照合し、貿易を認めた。	倭寇などとの区別と、正式な船であることの証明を結び付ける。
問 6 輸出入と国内の商業	銅は日本から明へ輸出され、銅銭は明から日本へ輸入された。銅銭は日本国内の支払いなどに使われ、商品を売買する取引を支えた。	銅の輸出と銅銭の輸入を区別し、銅銭を国内の売買の発達と結び付ける。
問 7 琉球の中継貿易	中国・日本・朝鮮・東南アジアなどを船で結び、ある地域で得た商品を別の地域へ運んで売る中継貿易を行って栄えた。	二つ以上の地域を挙げ、各地の商品を別の地域へ運ぶ仕組みを説明する。

解答 STEP 3 記述問題 続き

問題	模範解答	採点のポイント
問 8 アイヌの人々との交易	互いの地域の品物を得て暮らしに役立てた。一方、和人の進出や交易をめぐる対立もあり、1457年にはコシャマインの戦いが起こった。	品物を交換して得る利益と、コシャマインの戦いなどの対立の両方を示す。
問 9 惣と寄合の役割	用水路や山などを共同で管理し、年貢の負担や村の決まりを定める必要があったため、寄合で話し合い、村を自治的に運営した。	共同管理などの具体例と、寄合による話し合い・村の自治を結び付ける。
問 10 徳政の要求	飢饉や災害などで生活が苦しくなり、借金を返すことが難しくなったため、借金の帳消しや質物の返還などを求めた。	生活の困難や返済の難しさを、借金の帳消しなどの要求と結び付ける。
問 11 土一揆と国一揆	正長の土一揆では借金の帳消しなどの徳政を求めた。山城の国一揆では国人や農民らが両畠山軍を退去させ、南山城で自治を行った。	徳政の要求と、軍勢の退去・地域の自治という違いを示す。
問 12 堺の自治を支えた力	貿易や商業で富を蓄えた有力商人たちが会合衆をつくり、町の運営や治安などを話し合って自治を担った。	商業・貿易による富と、会合衆という有力商人たちによる自治を結び付ける。
問 13 応仁の乱が起こる背景	将軍家や守護大名家の跡継ぎ争いが、有力な守護大名どうしの対立と結び付き、多くの勢力を巻き込む大規模な戦乱になった。	家の跡継ぎ争いと、有力守護の対立が結び付いたことを示す。
問 14 戦国大名の領国支配	分国法で家臣や領民の行動などを定め、城下町に家臣や商工業者を集めるなどして、領国の支配や経済の発展を進めた。	法による統制と、城下町を拠点にした支配・経済の発展を示す。

解答 STEP 3 記述問題 続き

問題	模範解答	採点のポイント
問 15 金閣と銀閣を比べる	義満の金閣は華やかな北山文化を代表する。義政の銀閣は簡素で落ち着いた東山文化を代表し、どちらにも武家・公家の文化や禅の影響が見られる。	義満・金閣・北山と、義政・銀閣・東山を対応させ、特徴も示す。
問 16 現代につながる文化	書院造の床の間・襖・畳などは現代の和室にも受け継がれている。狂言は会話やしぐさで日常の笑いを表す芸能として、今も演じられている。	二つの具体例と特徴を示す。能や茶の湯、生け花などの例でもよい。
問 17 時代の変化をどう区切るか	いえない。1467 年の乱の開始後も幕府は続き、義昭の追放は 1573 年である。一揆も 1485 年や 1488 年など異なる時期に起き、各地の変化は段階的に進んだ。	幕府が続いたことと、各地の変化が異なる時期に進んだことを、年代とともに示す。
問 18 一揆に加わった人々	適切ではない。国人という武士や宗教の信者なども参加し、地域の自治を目指す場合や、信仰による結束で戦う場合など、参加者や目的はさまざまだった。	農民以外の参加者と、自治・宗教的な結束などの目的や性格の違いを示す。
問 19 日本の文化と外国の影響	いえない。明で学んだ水墨画や中国からの品物など、外国文化を受け入れながら、日本の風景や人々の好みに合う形に発展させた。	外国文化の受容と、日本での発展を両立させ、具体例を示す。
問 20 下剋上と大名の出自	下の立場の者が上の者を実力でしのぐことである。戦国大名には守護出身の者も家臣や国人から成長した者もおり、全員が同じ立場から台頭したわけではない。	下剋上の意味を示し、守護と守護代・国人など、異なる出自を具体的に挙げる。